



先生方の些細な仕事を教育の視点で考える

本校の学年・学級のテーマは、担任と子どもが1ヶ月近くかけてつくっています。特に子どもたちが、学年の立場や1年間の行事、学級の構成員の個性や雰囲気や課題をおよそ見通してから、願う方向に適した言葉を出し合い、寄せ合い、1つの文章にまとめたり頭文字を取って4文字熟語にしたりします。高学年ではそれを自分たちで装飾して掲示します。このようなプロセスを重視したテーマづくりは、学年・学級の構成員が共通の目的に向かって工夫したり協力したりする雰囲気を創造するとともに、1年間の中で起きる様々な出来事を、自分たちで価値付けたり、振り返り行動を見直したりすることを可能にするのです。このようなことも本校の特色であり、次期の教育課程にはぜひ書き込みたいと考えています。



1年生は、アサガオの種まきを連休前に終え、連休明け早々に、双葉が数本出てきました。1年生に聞くと、3個種をまいたようですが、2つはセット中から選んだもので、もう一つは今の2年生からもらったものだそうです。出た芽の1つは、家に持って帰るようで、見通しがしっかりと持っています。なかなか芽の出ない個体もあり、毎朝水をやりながら発芽を待っています。アサガオの種まきを連休後などに行うと、夏休みになるまでに花が咲かないことがあります。

花の観察だけでなく、色水遊びや染め物、押し花などが幼稚園等での経験とつながり、さらに広がるので、早々に発芽させていることが、今後の活動にとって非常に意味があるわけです。

理科室では、教科書の目次ページを使った授業を行っていました。学年の理科の特徴や1年間の見通しをもたせようとしていることがすぐに分かりました。「先を読んだらダメ」などという時代はとうに終わったのです。これまでの学習や経験と関連させ、楽しみをもたせながら、理科実験など学び方のプロセスも解説していました。「実験の仕方を学び習得する」ことは、今求められる資質・能力の育成に直結し、指導効率を高めます。教師の指示ですのではなく、学びたい意欲に基づいて進められるようになるからです。



今日も、芝生グラウンドで、運動会練習の音が響きます。安全上の指示は当然教師が行いますが、表現内容や取組内容は、よりよいものに向かって、子ども同士の協議や創意工夫が活かされていきます。そのような意味で、様々な場面での指導の成果を子どもの学びや育ちとして、28日の大運動会という晴れ舞台でご披露したいと思っていますので、どうぞ皆様、楽しみにして下さい。

⇒裏に続きます。

◇新しい先生の紹介〔書写（毛筆）的那賀修司先生・図工の大鳥悦子先生〕



今年度2年生以上の書写の授業をしていただいているのが那賀先生です。先生に授業で大切にしていることをお聞きすると、「書写で、和の文化を学んでほしいです。漢字は、2つ3つの文字が合わさってできているが、互いに譲り合って1つの文字をつくっているところがすばらしい。毛筆を使うとそれを感じやすいと思って指導しています」とお話ししていました。



3年生の図工の授業をしていただいているのが、大鳥悦子先生です。大鳥先生にインタビューすると、「ワクワクして作品作りに取り組める子になってほしい」とおっしゃっていました。先生自身も、みんながワクワクするために、教材や材料を選ぶようにしているそうです。「絵は、技術も必要ですが、まずは造形活動を楽しめることが大切です」とお話ししていました。

◇トピック 「大分駅に明星小学校の広告が掲載されました！」

大分駅の5番線と6番線のホームからエスカレーターで降りていくと、1階到着前に、目の前に巨大なオレンジ色の広告が表れます。

法人のほうで用意していただいたものです。「1年生からの英語」は、本校の特色の1つです。高い学力を維持・向上させるために、本年度から「探究による」学力と方向付けました。答のない問いの前立、真理を探究する姿を6年間貫き、生涯を生き抜いてほしいと願うからです。

今後の入学者を増やすために、皆様のご理解とご協力をお願いします。



■■車での登校に関するお願い■■

明豊中・高の、東側の一方通行の道路途中で、児童を自家用車から下ろす皆様をお願いします。（別途通知文参照）



○この道路に入っすぐ、亀のバスのバス停「明星下」先10mまでの間は、駐停車禁止（道路交通法）です。

○小学校の児童を下ろす際には、「明星下」バス停の10m先から北門までを目安に、下車させるようお願いいたします。

○くれぐれも、追い越しや発車の際にはお気を付け下さい。

○送迎に係る祖父母の皆様にもお知らせください。

